

例会日：毎週金曜日
 例会場：碧海信用金庫本店3F
 安城市御幸本町15-1
 TEL: 0566-75-8866
 FAX: 0566-74-5678
 Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp
 HP: http://www.anjo-rc.org

第2881回例会

2016年8月26日(金) 12:30~13:30

司会者：奥田 法行君

ソング：「手に手つないで」「四つのテスト」

卓上花：キキョウ・ルドベキア

ニコボックス報告：細井 英治君

雑誌委員会：鳥居 博行君

ゲスト及びビジター：

ナガマ サナ
 中嶋 紗菜さん 青少年交換学生

2016-2017年度RIテーマ：

「人類に奉仕するロータリー」

安城ロータリークラブ会長方針：

「地域社会に貢献し笑顔を共有しよう ~Let's smile together ~」

■会長：富岡 里美

■幹事：戸谷 央

■クラブ会報：中村浩一・稲垣淳・磯谷廣治・山口佳久

■創立日：S33年1月10日

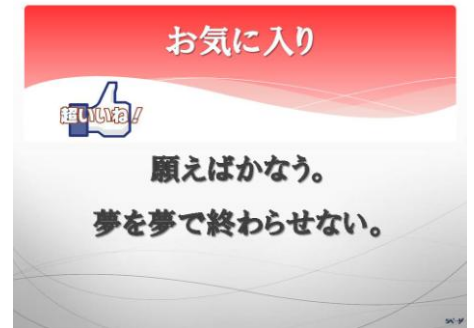
■RI加盟認証日：S33年2月6日



■ 会長挨拶

富岡 里美会長

Let's smile together 地域社会に貢献し笑顔を共有しよう



■ 幹事報告

戸谷 央幹事

- 2015-2016年度総合報告書が出来ましたので配布いたします。
- 写真同好会より 8/27~9/16まで安城RC写真同好会・写真展を開催いたしますのでご覧ください。
また、年間の展示予定も配布いたします。写真同好会メンバーの方は、本日3時より碧信本店営業部にて写真展示をいたしますので、お手伝いお願いします。
- 9/2 11:30~理事会を行います。

■ 出席報告

岩井 春次君

会員	57名
出席義務者	42名
出席	38名
欠席	4名
出席免除者の出席	12名
出席率	92.59%
修正出席率	8月6日 第2879回例会 100%

■ 青少年交換学生報告

中嶋 紗菜さん



Hello, I am Sana Nakajima. I went to America as an exchange student of rotary. Thank you for being my sponsor Rotary club. Please listen of my exchange year in America.

私はアメリカのミシガン州に青少年交換学生として、安城ロータリークラブより派遣していただきました、中嶋紗菜です。

首都はランシングで、最大都市はデトロイト。人口約990万人、これは大阪府の1.1倍ほどの大きさです。総面積は97平方マイル、本州と同じ大きさです。

私は一年間、ミシガン州のメイソンという都市に住むことになります。

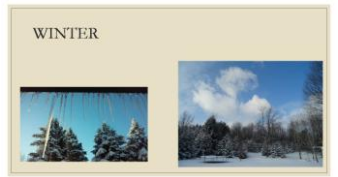
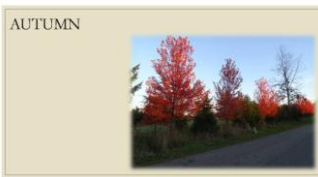


春は、ダウントウンは花で溢れており、とても気持ちの良い過ごしやすい季節で、庭で赤ちゃんうさぎを発見しました。

夏は30度前後の気温で、日本のように湿気は多くなく、じめじめしないさわやかな暑さです。

秋には木が紅葉していました。日本同様とても色づいて綺麗でした。

冬は気温マイナス20度前後の日々でとても低い気温ですが、寒かったと言うより、楽しかった！という記憶が大きいです。私は雪の季節がすきなので、ミシガン州に雪が降るということを知ってから、雪を心待ちにしていました。雪は最高15センチほど積りました。それでも今年は少なかったそうです。学校は7日間程スノーデーで休校になり、友達とスノーライディングやショッピングに行きました。ミシガンの冬を満喫しました！



丁度一年前の今日8月26日に沢山の方に見送られ、一人でアメリカへと出発しました。緊張などは特になく、ただ楽しみだと感じていた記憶があります。空港までホストファミリーとカウンセラーと留学生コーディネーターの方が迎えに来てくれました。私がホストハウスについたのは夜11時頃でした。お腹がすいてるだろうからと言ってホストマザーがヨーグルトをだしてくれました。それが私の最初のアメリカでの食べ物でした。そのヨーグルトは美味しかったですがとても味が濃かったのが印象的で、あー、これがアメリカの食べ物なのか...と思いました。

私は二つのホストファミリーにお世話になりました。

一つ目はNOVAファミリーです。

父、母、娘の3人家族でした。ホストファザーのラジャーは電気工事関係の仕事をしていました。仕事が忙しく家にいることが少なかったです。彼はフットボールが大好きだったのでフットボールのシーズンになるとテレビの前で鑑賞しながら、私にルールの説明をとても熱心に教えてくれました。そしてとても面白い人で、私をいつも笑わせてくれました。

ホストマザーのイングリッドはロータリアンで、ロータリーの事務仕事も自宅ですべて、なおかつ青少年交換の委員をやっていました。彼女はとにかく活発でアクティブな人でした。

ホストシスターのエイブリーは9歳の女の子で頭のいい、元気なかわいい子でした。

ホストマザーの親戚との食事会です。フレンドリーな会話などで、自然な気遣いが心地よく、私を家族の一員として受け入れてくれているのが、嬉しくありがたかったです。

大好物のクッキーです。みんなで作っていました。

毎日2個食べていました。

ファーストホストファミリーは、アウトドア派ですので、よくキャンプや湖に行きました 帰国直前にも、連れて行ってくれました



二つ目のホストファミリーへは一月下旬にホストチェンジをしました。

ホストファザーとマザーの二人暮らしの家庭です。子供は4人いましたがすでに自立しています。

ホストファザーのジェフは移植手術医で、持ち帰ってきた移植用の右の肺をみちやいました。

生きていた肺を見たのは初めてでした

マザーは以前高校の教師でした。

こちらはインドア派です。マザーとは趣味が合いました。よくショッピングにも行きました。

初めてのライフル体験はとても刺激的でした。私は意外と上手でした。

3月22日私の17歳の誕生日は学校と部活でした。学校では廊下で友達がおめでとうと言ってケーキやプレゼントをくれました！バンドと世界史のクラスではクラスメートがバースデーソングを歌ってくれました！ホストファミリーからはたくさんプレゼントをもらい、アメリカらしい大きな長方形のケーキを食べました。食べきるのに2週間はかかったと思います(笑)前のホストファミリーからも誕生日パーティーを開いていただき嬉しかったです。友達からはサプライズで誕生日パーティーをしてもらいそれも嬉しかったです。



私はメイソン市にある公立のメイソン高校に通っていました。アメリカの子供たちは基本的に地元の学校へ通います。メイソン市には小学校が3つ、中学校と高校は1つずつしかありませんでした。なので私立の学校に通いたい子は市外までいかなければいけません。

私は学校にスクールバスで通っていました。私の家から学校まではバスだと1時間ぐらいかかります。7:40にはクラスにいないといけないので、私の家にスクールバスが来るのは、朝6時半です。外は真っ暗でした。毎朝眠気と戦いながら頑張りました。

これはみんなが使っているシャーペンです。学校で30本で9ドルほどで売られています。みんなこの種類を使っています。新学期が始まる前にホストマザーと学校へ行き、私の学校カウンセラーの方と時間割を決めました。アメリカでは高校4年間の間に学ばなければいけない教科は決まっていますが、自分の好きな教科を選択して時間割を組みます。日本でいう大学生のような感じです。たまにクラスに高校一年生の子がいたり、高校三年生の子がいたりします。私はまだ英語を理解できなかったのでホストマザーとカウンセラーの方が一年間の私の時間割を組んでくださいました。時間割は、毎日同じ時間同じ授業を受けるのがびっくりでした。



私は一学期に美術、英語、写真加工、犯罪化学、そしてマーチングバンドを選択しました。

マーチングバンドはあくまで授業の一つとして選択をしていましたが、新学期が始まる前から練習が始まっていたので、「あれ、これってもしかして部活なのかな?」と思いました。マーチングバンドで私はシンバルを演奏していました。今まで吹奏楽でパーカッションをやっていた経験があるので、シンバル自体の演奏は出来ましたが、マーチングは初心者です。とても苦勞をしました。シンバルを演奏しながら歩くのは、体力がない私にとっては大変なことです。

マーチングバンドのおもな活動は、毎週末夜18:00~22:00に行われるフットボールの試合の前にパフォーマンスをし、ゲーム中に応援演奏をします。

また、地元のフェスティバルなどに参加して演奏することもありました。

三学期にソフトボール部に入部しました！友達作りと体力づくりに入部しました。が、みんなソフトボール経験者でかなり運動のできる子が多く、軽い気持ちで入部し、運動音痴な私にとってはかなりハードな部活でした。週2回の練習と聞いていたのに練習は毎日あるし、毎日1マイル走るし、バッティング・キャッチング、筋トレなど、運動部に入ったことのない私にはとても酷でした。宿題も手につかない、授業中もぼーっとしてしまう、入部して一週間筋肉痛は治りませんでした。こんな過酷な日々でしたが、私は部活が楽しみでした。コーチや友達がいつも励ましてくれ、頑張れたし、休憩の時にするゲームも楽しいからです。

試合の日は特別な日なので、チームメイトはその一日をスペシャルな日にする為、学校にはおしゃれをします。そんなところもアメリカンな気がしました。私はというと迷惑をかけないでプレーが出来るか、プッレシャーでいつも冷や汗でしたので、メンタルは強くなったと思います。

部活動ではシーズンが終わってから最後に部活動を振り返るBanquetというのがあります。私は旅行の為出られないとコーチに伝えたら、ソフトボール部の子どもたちが私の為にパーティーを開いてくれました。パーティーはコーチの家でピザを食べたりゲームをしたり沢山写真を撮ったりしました！ソフトボール部に入学したことは私の留学生生活を大きく変えてくれました。入学する前より友達の幅も話す量も増え、学校生活がより楽しくなりました。

二つのダンスパーティーに行きました！一つは一学期にあるホームカミングです。ホームカミングは日本という文化祭のようなものです。これが初めてのダンスパーティーだったので緊張していましたが、1時間も踊っていれば楽しくなってきた、結局4時間ずっと踊っていました。

5月には前からとても楽しみにしていたプロムにたくさんの友達と一緒にいきました。6時間メイクアップやヘアアレンジをして準備をしました。プロムは大学のフットボール場のVIPルームのようなところで行われました。写真ブース(プリクラのようなもの)果物やデザートがありました。5時間近く踊り続け、楽しすぎる時間を過ごしました。プロムの後はみんなでもだちの家に集まって夜中の三時頃までキャンプファイヤーをしながらずっとはしゃいでいました。アメリカのダンスパーティーは二度と経験することのできない思い出の一つになりました。



メイソンロータリークラブの例会には毎週出席していました。例会はダウンタウンにあるカフェの別室で、毎週木曜日に開かれます。私毎週、学校をお昼で早退し学校までホストマザーが迎えに来てくれそのまま例会に出席する、という感じです。メイソンロータリークラブには約30人の会員さんがいます。

この写真は会長の方に安城ロータリークラブのバナーを渡しているところと、ガバナーの方と写真を撮りました。例会でのランチはいつもビュッフェスタイルの美味しい食事で、私の楽しみの一つでした。食べる席は決まっていないので毎回いろんな方とお話をしながら食事をしていました。

春にあったスプリングフェスティバルではメイソンロータリークラブ主催のダックレースがあり、川に2500個近くのアヒルのおもちゃを流し競争しました。それからロータリーの奉仕活動で町の貧しい4家族へクリスマスプレゼントを贈る活動をしています。買ったものを持ち寄りみんなでラッピングをし、私もサンタクロースになり家まで届けました。プレゼントをもらった家族の方々の幸せそうな顔は今でも忘れられない思い出です。

日本食を作りました！偶然ホストファミリーが炊飯器を持っていたのでご飯は簡単に炊くことが出来ました。ひじきや炒め物の醤油の味付けをみんな好んで下さいました。

12月はクリスマスの為に「クリスマスツリー狩り」へ行きました！とても広く大小様々な何百本ものクリスマスツリーが、大きな台車を引きながらみんなで気に入るツリーを捜し歩き歩きます。

私たちは2.7メートルもある立派なツリーを見つけ購入しました。家ではデコレーションをしました。たくさんの種類のオーナメントに家族のいろいろ思い出があり見ごたえがありました。数日後、重さと高さで耐え切れずツリーが倒れるというハプニングがあり、たくさんあったオーナメントも半分近く壊れてしまい、立て直すのも大変でした。

私の6360地区には13人の留學生がいます。

私のホストマザーは地区の青少年交換委員もやっているので、地区のオリエンテーションは必ず一緒に行きます。年に10回ほどのオリエンテーションをしました。

セントラルステイツ最後のオリエンテーションでは、アマンダにも会いました。



4月1日から5日までマーチングバンドの演奏旅行でフロリダのディズニーワールドへ行きました。往復に二日間かかっているバス旅行です。クリニックという名の演奏の指導をディズニーの裏舞台のホールでプロのサクソ奏者の方がしてくださり、夜のパレードに出ささせていただきました。パレード直前は今までにない緊張感で涙が出そうになりました。

私たちのマーチングの後にディズニーキャラクターたちがそれぞれの乗り物で登場するため、舞台裏にはミニちゃんの頭をかぶってないキャストなど準備中のキャラクターたちや、たくさんのイルミネーションがつけられた乗り物がありました。それらを至近距離から見る事が出来たのもまた良い経験です。私たちはシンデレラ城の前を演奏しながら歩き

ました。緊張と感動でどんな演奏をしたか記憶がありませんが、とても幸せでした！
ファーストホストマザーからクリスマスプレゼントとして頂いたコロラド州へのスキー旅行(1月15日～18日)に行きました。

標高3000メートルぐらいの高さにあるBreckenridgeという町に行きました。休日に行ったので人が沢山いましたが、それに勝るぐらいスキー場も広がったです。スキー場ではみんなニット帽の代わりにヘルメットをかぶっていました。危ない滑り方をする人が多いから安全の為だそうです、私にとっては異様な光景でした。

上の方からの景色は今まで見たことのない、言葉にできないほどの美しさでした。『私、アメリカでスキーしてるんだ！！』と、とても幸せに感じました。このスキー旅行はファーストホストファミリーとの最後の素晴らしい思い出になりました。そして素敵な出会いに感謝して、さらにこの留学を頑張ろうと思うことも出来ました。

ちなみに...スキー場のリフトは六人乗りで、2年ぶりにスキーをした私は2回ほど轢かれ少しトラウマになりました(笑)
6月11日から25日まで東海岸のアメリカ旅行に行ってきました。私の地区の留学生はほとんど西海岸希望者が多く東海岸希望者は私一人だけでした。友達が出来るか少し不安はありましたが、それ以上にアメリカを満喫できる旅行にとてもわくわくしていました。旅行はペンシルベニア州から始まり、ワシントンDC、ニューヨーク、ボストンという流れでの2週間のバスツアーでした。メンバーは全部で29人とかなり少人数。

ボストンには一日ほどしか滞在しませんでした。私はハーバード大学を訪れました！アメリカの大学に足を踏み入れることが出来、興奮しました。Mr. Jon Harvardの銅像の足に触れたら、賢くなったような気がしました。大学のすぐ隣には、おさるのジョージの専門店がありました。そこではいどこにプレゼントで絵本を買いました。水上バスでボストンの湖を観光しました。ボストンはアメリカで一番古い都市なだけあり、街並みはとても綺麗でした。

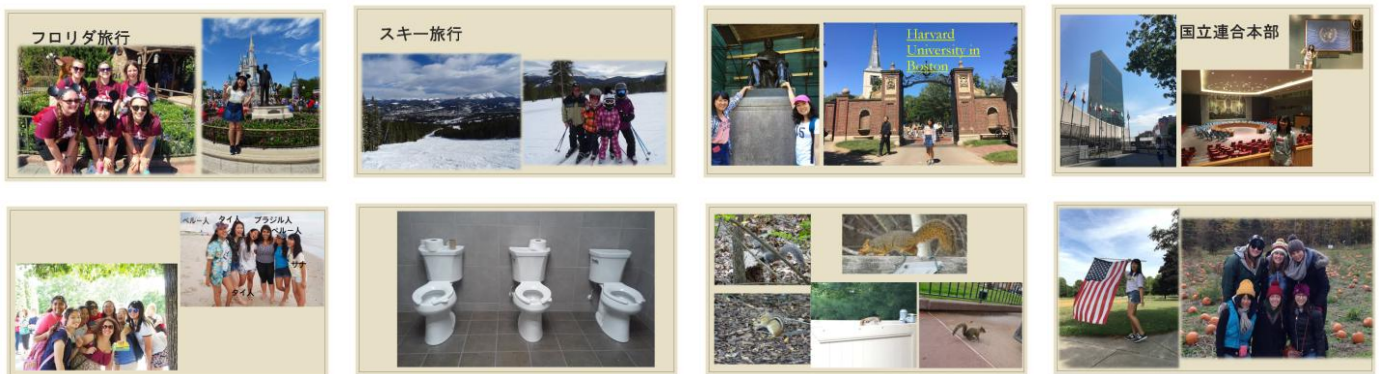
国際連合本部ではガイドさん付きのツアー見学でした。三つの大きな会議場に入ることが出来、そのうちの一つは偉い方の会議中で長居は出来ませんでした、とても貴重な体験でした。パスポートに国連のマークのスタンプもゲットしました。

この旅行では沢山の国の子と交流が出来、楽しく過ごすことが出来てよかったです。また機会があれば反対側の西海岸の旅行にも行ってみたいです。

いろんな国の友人が出来ました。

これは旅行中に会ったおかしなトイレです。入った瞬間驚きました。皆さんならどれを使いますか？

私のアメリカでの好きなことの一つはリスを見ることでした。私はアメリカに来る前まで日本でリスを見たことがありませんでした。アメリカに来て日常茶飯事でリスを見る事が出来、とても驚きました！至る所で発見することが出来ます。発見するたびに写真を撮ってきたのでリスの写真は沢山持っています！！ミシガン州のリスは人間を怖がって近づいてきてくれませんが、フロリダのリスや、ワシントンDCのリスは人懐っこかったです。



一年間のアメリカでの生活は私を様々な面で成長させてくれました。

言葉数の少なく、黙っていてもわかってもらえる環境にぬくぬく育っていた私にとって、アメリカの、自己主張なしには、何も出来ない・始まらない・楽しめない環境に初めは戸惑いました。しかし、人生に二度とないかもしれないチャンスに、ぐずぐず悩んでいられない、一年で出来るだけのものを吸収して帰ってやろうと思い、すべてに積極的に行動することを決意してチャレンジしてきました。ホストファミリーのおかげもあり、ホームシックになることもなく、学校生活や友達関係も順調で、いろんな国の友達も出来ました。アメリカの広大な敷地と自然は、小さなことにくよくよ悩む私の心も広くしてくれ、学校やホストハウスの天井の高い空間は、わたしの声も大きくしてくれました。英語での会話は、思いを伝えるのにはまだまだ未熟で、もどかしさを感じます。1年間全く日本語を話さなかったのも、少し言葉遣いがおかしいですが、思ったことをすぐに伝えられるのがちょっと嬉しく感じています。なので家族にはうるさいと怒られています。

私に貴重な青少年交換留学をさせて頂き、安城ロータリークラブの方々・地区青少年交換委員会の方々には感謝をしています。

これからの私の成長も見守っていただけたらうれしく思います。

以上で、私のアメリカ留学記を終わります。

ご清聴ありがとうございました。